

稻村亭が古民家ホテルに

来年2月串本町でオーブン

串本町の歴史的資源である築150年の古民家「稻村亭」などを改修し、来年2月に古

民家ホテル「NIPPONIA HOTEL 串本熊野海道（ニッポンニアホテルくしもとくまのかいどう）」がオープンする。

明治初期、海岸に漂着した1本のスギの大木から奥座敷2間（8畳と10畳）の柱や壁、障子の桟や小型の家具まで造り、地元の資産家の神田氏が隠居生活を楽しんだとされている。この流木は、当時の漁師たちが、昔の大



改修された稻村亭で内覧会

古民家ホテルの事業主体はまちづくり会社の(株)一樹の陰(串本町)、運営は(株)sublime(東京)。串本町、(株)紀陽銀行、一般社団法人NOTE(兵庫県)の3者が支援している。同町の地域活性化を図る「串本古民家・まちづくりプロジェクト」の一環で、同町の古民家活用協議会や自治体らと連携を図りながら取り組んでいる。

稻村亭と近くにある別の古民家の2棟を改修し、宿泊棟やレストランとする。開業時は2棟3室から始める計画だが、2020年

が使われて稻村亭が新たに建築されたとされている。改修はことし4月から着工し、ほぼ完了。16日に同町で行われたエルトゥールル号遭難の追悼記念式典に合わせて内覧会も開催された。

には10棟15室を新たに開業する予定。稻村亭には10棟15室を新たに開業する予定。稻村亭